



# 画面の端にピントを合わせる

シャッターボタンを半押し、  
構図を変えて撮るだけ

ピントを合わせるためのフォーカスエリアは、画面中央部にあるのが基本です。

しかしこれでは、画面中央部にしかピントを合わせることができません。花や人物を撮影する時には、必ず顔を画面中央部にするしかありません。

これではあまりに不自由です。

そこで、画面の端など、フォーカスフレームがない位置にもピントを合わせる方法をマスターすることはとても重要です。

やり方はいたって簡単。一度体験しておくだけで、すぐに使えるようになります。

まず、ピントを合わせたい目的の被写体をフォーカスフレームに合わせます。そして、シャッターボタンを半押しにすると、オートフォーカ

スが作動し、目的の被写体にピントが合います。面白いことに、シャッターボタンを半押しにしている間はずっとピントが固定されるのです(フォーカスロック)。

ですから後は、カメラの向きを変えて構図に調整し、シャッターボタンを全部押し込むのです。

カメラを前後に動かすと、ピント面が前後にズレ、ピンボケになりますので注意します。

プラスワン!

## ピンボケとブレに注意!

初心者がピンボケと思う写真の多くはカメラブレといわれます。レンズの描写や、オートフォーカスの性能が悪いということは滅多にありません。

カメラブレは、撮影中にカメラが微妙に動くことで画面全体がズレて、あたかもピントがボケているように見えるものです。

被写体が動くことでブレて写ることもあり、これは被写体ブレと呼ばれます。



画面全体がブレている例です。もっと微妙なブレは、ピンボケと間違いやすいです。



背景にもひまわりにもピントが合っていません。これは、ブレではなく、ピンボケです。

フォーカスモードを確認!!



**【AF-A】**  
A(オート)モードは、S(シングル)とC(コンティニュアス)をカメラが自動で変更します。

**【AF-S】**  
フォーカスロックを使う場合は、Sモードを選びます。

**【AF-C】**  
Cモードでは、シャッターボタンを半押しにしている間ずっとピントを合わせ続けます(フォーカスロックしません)。



シャッターボタンを半押しにしたまま、



フォーカスエリアから外れた被写体にはピントが合いません。



構図を変えてから、シャッターボタンを全部押し込みます。



目的の被写体をフォーカスエリアに位置させて、